

「検査と技術」第 19 巻 総目次

1991 年(第 1 号～第 13 号)

数字は通巻頁数, () は号数

〔病気のはなし〕

気管支喘息	佐々木憲二	6(1)
先天性心疾患	門間 和夫	102(2)
原発性免疫不全症候群	河 敬世	194(3)
大腸癌	多田 正大・清水 誠治・大塚 弘友・磯 彰格・岡村 雅子・中澤 敦子・川井 啓市	310(4)
自己免疫性溶血性貧血	小峰 光博	404(5)
結節性動脈周囲炎	岩本 幸子	500(6)
糸球体腎炎	湯村 和子・二瓶 宏・堀田 茂・川島真由子	596(8)

アミロイドーシス(アミロイド症)	磯部 敬	714(9)
誤嚥性肺炎	鈴木 幹三	806(10)
骨髄増殖性疾患	川端 浩・吉田彌太郎・山岸 司久	898(11)
甲状腺機能亢進症	紫芝 良昌	998(12)
壊死性リンパ節炎	浅野 重之	1096(13)

〔検査法の基礎〕

抗核抗体の検査法	長野百合子・吉野谷定美・大久保昭行	15(1)
画像検査法の基礎	長倉 俊明	21(1)
フェロカインेटィクス	溝口 秀昭	109(2)
細菌分類学の基礎(1)	藪内 英子	115(2)
精度管理の基礎	中 甫	203(3)
細菌分類学の基礎(2)	藪内 英子	209(3)
Western blotting 法	西村 要子	317(4)
生体計測に使用するトランスデューサ	嶋津 秀昭	323(4)
グラム染色	矢越美智子	413(5)
検量線の回帰モデル	細萱 茂実・久米 章司	418(5)
酵素法による電解質の測定ークロール, マグネシウム, カルシウムを中心にして	栢森 裕三・片山 善章	507(6)
塩化アンモニウム負荷試験と重曹負荷試験	堀尾 勝・福原 吉典・折田 義正	513(6)
検査室における MRSA 院内感染予防対策	浅野 裕子・石郷 潮美・入山 純司・水口 一衛	603(8)
免疫学的血中薬物濃度測定	三浦 裕	721(9)

A 群溶血性レンサ球菌感染症の免疫学的検査

	寺嶋 周	728(9)
S-100 蛋白の免疫組織化学	高橋 聖之	812(10)
クレアチニン補正	青木 哲雄	817(10)
Fm θ の出現機序	水木 泰・山田 通夫	905(11)
血液凝固と抗凝固	鈴木 宏治	911(11)
ディスク感受性検査の精度管理	小栗 豊子・三澤 成毅	1005(12)
分子サイズの求めかた	須藤加代子	1011(12)
HBs 抗原サブタイプ	小林万利子	1103(13)
超音波ドプラ法	永江 学	1108(13)

〔技術講座〕

生化学

M 蛋白の検出と検査の進めかた

	ゞ谷 直人・大谷 英樹	27(1)
イオン化カルシウムの測定	桑 克彦	119(2)
エラスターゼ 1 の検査	中島 公雄	423(5)
糖負荷試験と血糖検査	藤川 淳	519(6)
純水の管理	正路喜代美	823(10)
クリアランスの測定	深田 靖彦	829(10)
血中ケトン体の測定法	青木 芳和	919(11)
アンモニア消去系尿素窒素測定法	植田 康樹・林 貞夫	1019(12)

分光光度計の使いかた	大澤 進	1023(12)
血中ケトン体の測定	平野 哲夫	1113(13)

血 液

血液寄生虫の検査	鈴木 了司	334(4)
非特異的エステラーゼ染色	長井 一浩・朝長万左男	428(5)
フローサイトメトリーによる顆粒球機能検査	鎌倉 正英・河野 純一・浜渦 俊和	731(9)
May-Giemsa(Wright-Giemsa)染色	小宮 正行・古沢 新平	931(11)

輸 血

輸血用血液からの白血球除去法とその意義

	大坂 顯通・湯浅 晋治	33(1)
--	-------------	-------

免疫(血清)

クリオグロブリンとクリオフィブリノーゲンの

臨床検査	尾形 正裕・吉田 浩	125(2)
ELISA 法による抗カルジオリピン抗体の検査法	川田 勉	329(4)
妊娠反応と hCG β -サブユニット測定法	近藤 泰正・佐藤 和雄	433(5)

CA 19-9 の測定法 …柴田 宏・松岡 暎……527(6)	
Lewis 式血液型の検査法 ……………内山 英一……737(9)	
CRP 定量法とその問題点 ……………本多 信治・吉田 浩……925(11)	
免疫組織学的核内蛋白の同定法 ……………小針喜美子・森下 保幸・森 茂郎… 1030(12)	
抗糸粒体抗体 ……………野口 英郷・楠 悦子・水越 和則… 1119(13)	
微生物	
深在性真菌症の血清診断 ……………前崎 繁文・河野 茂・原 耕平…… 37(1)	
ヒト乳頭腫ウイルス (HPV) 感染の DNA 診断 ……………高田 道夫・鈴木 正明……131(2)	
糞便を試料としない寄生虫検査 ……………立花 保行・坂本 信……137(2)	
肺炎球菌の同定法 ……………下口 和矩・松田 淳一・菅原 和行・ 賀来 満夫……212(3)	
DNA プローブによる抗酸菌の同定 ……………阿部千代治……339(4)	
蛍光抗体法によるウイルス抗体検査 ……………山内 寿靖……441(5)	
コレラ毒素の検出法 ……………竹田 美文……532(6)	
市販生培地の品質管理 ……………長沢 光章……741(9)	
polymerase chain reaction を用いた MRSA の 判定 ……………徳江 豊……835(10)	
リステリア菌の検査法 ……………寺尾 通徳… 1127(13)	
病 理	
良い顕微鏡写真の作りかた ……………宮澤 六郎……537(6)	
組織内線維の染色法 ……………原 正道・北村 和久・江原美智子・ 原田 正一……840(10)	
組織内金属の染色法 ……………田村 猛・菊地 正子・大宮 章子・ 佐々木佳郎・田中 祐吉……934(11)	
免疫電顕法 ……………福里 利夫… 1035(12)	
生 理	
循環器領域における超音波検査の進めかた ① 心エコー図 ……………増田 喜一…… 43(1)	
循環器領域における超音波検査の進めかた ② 先天性心疾患 ……………重田 裕司……145(2)	
循環器領域における超音波検査の進めかた ③ 虚血性心疾患 ……………仲宗根 出……217(3)	
循環器領域における超音波検査の進めかた ④ 心臓弁膜症 ……遠田 栄一・種村 正……345(4)	
循環器領域における超音波検査の進めかた ⑤ ドップラ心エコー図 ……………戸出 浩之・細井 勉・熊倉 久夫・ 市川 秀一・遠田 栄一……447(5)	
消化器領域における超音波検査の進めかた ① スクリーニング検査 ……………細野 明男……545(6)	
消化器領域における超音波検査の進めかた	

② 肝の区域分類 ……………岩下 淨明・松江 寛人……611(8)	
消化器領域における超音波検査の進めかた ③ 主な肝疾患 ……………佐久間 浩……747(9)	
甲状腺の超音波検査の進めかた ……………高梨 昇・南里 和秀・小林 久雄・ 久保田光博……939(11)	
乳房の超音波検査の進めかた ……佐久間 浩… 1041(12)	
一 般	
尿中変形赤血球の検査法 ……………森河 淨・岡田 敏春・黒田 満彦…… 49(1)	
便潜血反応—精度管理の実際 ……………中村美枝子・武田 勇……351(4)	
尿蛋白定量検査の精度管理 ……………水谷 博・松崎 頼子・藤森 勲……753(9)	
免疫学的便潜血反応の自動分析 ……………南 義弘・山本 慶和……845(10)	
胸水・腹水中の細胞の見かた ……稲垣 清剛… 1132(13)	
管 理	
病院臨床検査室における TQC の手法 ……………三村 幸一・松岡 瑛… 1141(13)	

〔マスターしよう検査技術〕

抗 ENA 抗体の検出と同定法 ……………長野百合子・吉野谷定美・太久保昭行…… 57(1)	
particle smear 法骨髓穿刺標本作製法 ……………原田 契一……153(2)	
試料の秤量と溶解法 ……………高橋 十郎・大野 隆……227(3)	
迅速診断用凍結切片の作製法 ……西見 博之……359(4)	
小児の脳波のとりかた ……………厨川 和哉……457(5)	
黄色ブドウ球菌のコアグラゼ型別法 ……………潮田 弘……555(6)	
PORETEC 法(フィルター)による液状検体の 集細胞塗抹標本作製法 ……………平田 守男・古田 則行……621(8)	
装置定数法による実測 K 値の求めかた ……………大貫 経一・山崎 忠夫・桑 克彦……763(9)	
微生物株の保存法 ……………鈴木健一郎……853(10)	
プール血清の簡易的な作製法 ……………山舘 周恒・関口 光夫……949(11)	
超音波検査の基本技術 ……………背古 和人… 1051(12)	
急速凍結・ディープエッチング法 ……………泉山七生貴… 1149(13)	

〔生体のメカニズム〕

免疫反応にかかわる細胞 ……………笠倉 新平…… 63(1)	
T 細胞の分化と機能 ……………伊藤 忠一……159(2)	
B リンパ球の分化と機能 ……………成内 秀雄……239(3)	
マクロファージの役割 ……………高須賀直美・赤川 清子……382(4)	
サイトカインの種類とその働き ……宮坂 信之……479(5)	

サイトカインと細胞間相互作用 …宮坂 信之……575(6)	
HLA の役割と疾患	
……………吉住 秀之・笹月 健彦……645(8)	
補体とそのレセプター ……………戸澤 秀樹……787(9)	
アレルギー反応と細胞のかかわり	
……………森田 寛……875(10)	
主要組織適合遺伝子複合体 ……………柏木 登……972(11)	
特異性抗体ができるしくみ ……………松橋 直… 1073(12)	
悪性腫瘍と免疫機構	
……………浅川 英男・山口 稽子… 1171(13)	

〔検査ファイル〕

項 目

IV型コラゲン	
…中野 博・中林 仁美・辻井 啓之…… 76(1)	
糞線虫 ……………志喜屋孝伸…… 78(1)	
ハプトグロビン ……………佐藤 祐二……162(2)	
尿中ヘモジデリン ……………入江 章子……164(2)	
甲状腺刺激ホルモン(TSH)レセプター抗体	
……………玉置 治夫・網野 信行……242(3)	
Vero 毒素産生性大腸菌 ……………内村真佐子……244(3)	
グアニジノ化合物ーメチルグアニジンとグアニジノ酢酸	
……………石崎 允……369(4)	
人工ペースメーカー心電図 ……………笠貫 宏……372(4)	
総鉄結合能, トランスフェリン, 血清フェリチン	
……………内田 立身……469(5)	
各種アレルギーの特異的 IgG ₄ 抗体の測定	
……………灰田美知子……472(5)	
オリゴクロナルバンド ……………山田 正仁……562(6)	
前立腺特異抗原 ……………山田 俊幸・松井 朝子……564(6)	
病理組織における中間径線維 ……………杉原 志朗……627(8)	
ミエリン塩基性蛋白 ……………山田 正仁……630(8)	
マイクロプレートハイブリダイゼーション法	
……………江崎 孝行・三宅 正美……770(9)	
パルスエコー法 ……………石出 信正……772(9)	
BCA 225	
…石 和久・川島 徹・八木 義弘……858(10)	
1,5-アンヒドログルシトール	
……………奥住 裕二・森 三樹雄……861(10)	
CA 72-4 ……………小西二三男・小西 奎子……955(11)	
肝細胞増殖因子(HGF) ……………二井谷好行……958(11)	
赤血球沈降 ……………工藤 秀機… 1059(12)	
抗菌薬関連腸炎 ……………安達 桂子… 1062(12)	
抗 ds-DNA 抗体と抗 ss-DNA 抗体	
……………高野 慎… 1156(13)	
脾の描出法 ……………丹生谷 徹… 1159(13)	
機 器	
骨塩分析装置 ……………白木 正孝…… 82(1)	
BACTEC 460 TB システム	
……………大川 三郎・宮坂 強……166(2)	
CF 形機器 ……………清水 孝一……246(3)	
Counting Immunoassay ……………浅沼 康一……376(4)	

自動封入器 ……………金子 伸行……474(5)	
MRI 装置 ……………田中 邦雄・栗城 真也……632(8)	
簡易血液凝固検査用機器 ……………米満 博……774(9)	
RS ウイルス検出キット ……………目黒 英典……864(10)	
自動尿沈渣分析装置 UA-1000 ……今井 宣子……866(10)	
X 線マイクロアナライザー ……………菊地 文史… 1064(12)	

試 薬

カラーゲンペプチド測定試薬	
……………中野 博・中林 仁美・辻井 啓之・高松 正剛……568(6)	
coupling medium(伝達物質) ……………南里 和秀……960(11)	
用 語	
乳児ボツリヌス症 ……………井上 博雄…… 80(1)	
CRM(認証標準物質) ……………川瀬 晃……168(2)	
免疫グロブリンのイディオタイプ	
……………戸川 敦……248(3)	
T リンパ球抗原レセプター ……………多田隈卓史……378(4)	
リエントリー ……………奥村 謙……476(5)	
コロニー刺激因子(CSF) ……………岡部 哲郎……566(6)	
アイソザイムとアイソフォーム ……長 裕子……635(8)	
アゾール系抗真菌剤 ……………伊藤 章……777(9)	
カットオフ値 ……………大倉 久直……963(11)	
残気量 ……………福井 順一… 1066(12)	
biological response modifiers(BRM)	
……………曾根 三郎… 1162(13)	
picture archiving and communication system(PACS)	
……………工藤 俊彦… 1164(13)	

〔講座/英語論文を読む〕……弘田明成

著者の手引(Information for Authors) ……………86(1)	
Screening for Thyroid Disease ……………170(2)	
Comparison of HIV-Antibody Prevalence in Patients Consenting to and Declining HIV-Antibody Testing in an STD Clinic ……250(3)	
Type D(Delta) Hepatitis ……………380(4)	
Effects of Storage Time and Temperature on Measurement of Small Concentrations of Albumin in Urine ……………482(5)	
Radioimmunoassay of Erythropoietin : Analytical Performance and Clinical Use in Hematology ……………578(6)	
Strategies of Organization and Service for the Critical-Care Laboratory ……………642(8)	
Atrial natriuretic peptide and renal adaptation to contralateral nephrectomy in healthy man ……………780(9)	
Total Lactate Dehydrogenase and Its Isoenzymes in Serum of Patients with Infectious Mononucleosis ……………868(10)	
Partial Purification of Endogenous Digitalis-like Compound(s) in Cord Blood ……………970(11)	
Immunoturbidimetric Method for Routine	

Determinations of Apolipoproteins A-I and B	1076(12)
PHYSICAL ACTIVITY AND REDUCED OCCURRENCE OF NON-INSULIN-DEPENDENT DIABETES MELLITUS	1174(13)

〔ラボ・クイズ〕

問 題

心電図	比江嶋一昌	54(1)
寄生虫	升 秀夫	150(2)
脳波	一條 貞雄	224(3)
血液	服部 理男・野本 幸雄	356(4)
心電図	比江嶋一昌	454(5)
寄生虫	升 秀夫	552(6)
脳波	一條 貞雄	618(8)
血液腫瘍	服部 理男・野本 幸雄	760(9)
心電図	比江嶋一昌	850(10)
寄生虫	升 秀夫	946(11)
脳波	一條 貞雄	1048(12)
細胞診	服部 理男・野本 幸雄	1146(13)

解答と解説

'90年12月号	西村 俊信	55(1)
1月号	比江嶋一昌	151(2)
2月号	升 秀夫	225(3)
3月号	一條 貞雄	357(4)
4月号	服部 理男・野本 幸雄	455(5)
5月号	比江嶋一昌	553(6)
6月号	升 秀夫	619(8)
7月号	一條 貞雄	761(9)
8月号	服部 理男・野本 幸雄	851(10)
9月号	比江嶋一昌	947(11)
10月号	升 秀夫	1049(12)
11月号	一條 貞雄	1147(13)

臨時増刊・7号〈臨床血液検査一形態学的検査・止血機能検査・血液病理検査〉

〔序〕血液検査の動向	山中 學	7
------------	------	---

I. 形態学的検査

1. 形態学的検査の実際

1) 末梢血液像の見かた	亀井喜恵子	10
2) 骨髓像の見かた	相賀 静子	17
3) 特殊染色法	古沢 新平	23
4) 自動白血球分類装置による方法	西村 敏治	31
5) 自動血球計数機の使用法	浅井 正樹・稲垣 恵章	38
6) 網(状)赤血球の測定法	新谷 和夫	47
7) フローサイトメトリー	中原 一彦	49
8) 染色体検査	篠原多美子	55
9) <i>in situ</i> hybridization	佐藤 裕子	65

10) Southern blot 法	池田 健・西井 一浩・北 堅吉	71
11) Northern blot 法	長谷 聖美・青木 洋祐	76
12) polymerase chain reaction 法	北村 聖	82
2. その他の検査		

1) 溶血性貧血の検査

(1) 溶血性貧血と生体	松本 昇	88
(2) 赤血球浸透圧脆弱性試験, Ham 試験, sugar-water 試験	藤岡 成徳	90
(3) 異常ヘモグロビン	原野 昭雄・原野 恵子・上田 智	93

2) 血液幹細胞の培養法とサイトカイン

	中畑 龍俊	95
--	-------	----

3) 顆粒球機能検査

	北川 誠一	103
--	-------	-----

II. 止血機能検査

1. 検査の考えかた

1) 生体の止血機構	藤巻 道男	118
2) 止血異常における検査とその組み立てかた		
(1) 止血異常患者へのアプローチとスクリーニ ングテスト	中村 克己	125
(2) 出血傾向の検査方針	櫻川 信男	129
(3) 血栓症, 播種性血管内凝固症候群(DIC)の 検査指針	出口 克己	136
(4) 止血学的分子マーカー	風間 睦美	140

2. 検査の実際と症例の解釈

1) 血小板機能検査

A. 検査法

(1) 出血時間	松野 一彦	146
(2) 毛細血管抵抗性	藤村 欣吾	150
(3) 血餅退縮能	藤村 欣吾	151
(4) 血小板粘着能	新倉 春男	153
(5) 血小板凝集能	久米 章司	156
(6) β -トロンボグロブリン, 血小板第4因子	塚里 孝和	161
(7) トロンボキサン B_2	森田 育男	164
(8) 血小板抗体	降旗 謙一・石田 文宏	168

B. 症例呈示

(1) 血小板無力症の一姉妹例	粉川 皓年・野村 昌作	172
(2) 抗血小板剤の効果	田上憲次郎・川越 栄	176
(3) 特発性血小板減少性紫斑病	渡辺 清明	180

2) 凝固検査

A. 検査法

(1) 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	高宮 脩	187
(2) プロトロンビン時間(PT), トロンボテスト (TTO)	鈴木 節子	191
(3) ヘパプラスチンテスト(HPT)	安室 洋子	195
(4) 凝固因子活性		
a) 凝固因子欠乏試剤を用いた一段法	江川 宏	199

b) 発色性合成基質を用いた凝固因子定量法	本射 滋己	202
c) 第 XIII 因子測定法	富田 幸治	207
(5) 凝固因子抗原	高橋 芳右	210
(6) von Willebrand 因子	藤村 吉博・西尾 健治・西田 幸世・ 福井 弘・宇佐美好子・千谷 晃一	215
(7) フィブリノゲン	桜井 典子	221
(8) PIVKA-II	目黒 嵩・高山 成伸・山崎 哲	224
(9) プロテイン C, プロテイン S	西岡 淳二・小坂 義種・林 辰弥・ 鈴木 宏治	228
(10) アンチトロンビン III	新谷 憲治・櫻川 信男	235
(11) 後天性インヒビター		
a) 第 VIII, 第 XI 因子インヒビター	木下 忠俊	238
b) 抗リン脂質抗体—ループスアンチコアグ ラント, 抗カルジオリピン抗体	滝 正志・山本美保子	241
(12) ヘパリン—その抗凝固作用とモニター法	松尾 武文・苅尾 七臣	244
(13) 可溶性フィブリンモノマー複合体	掛端 健一	249
(14) トロンビン・アンチトロンビン III 複合体	朝倉 英策	252
(15) フィブリノペプチド A	長谷川 淳	256
B. 症例呈示		
(1) 血友病と von Willebrand 病	西野 正人・吉岡 章	259
(2) 播種性血管内凝固症候群 (DIC)	新名主宏一	265
(3) アンチトロンビン III 欠損, 分子異常症	辻 肇・中川 雅夫	274
(4) プロテイン C, プロテイン S 欠乏症	高松 純樹	278
3) 線溶検査		
A. 検査法		
(1) プラスミノゲン	前川 久登・坂田 洋一	283
(2) α_2 -プラスミンインヒビター	飯島 憲司	286
(3) フィブリン/フィブリノゲン分解産物, D グ イマー	細莊 和子	288
(4) プラスミン・ α_2 -プラスミンインヒビター複 合体	川合 陽子	292
(5) 組織型プラスミノゲンアクチベーター, プ ラスミノゲンアクチベーターインヒビター	渡辺 尚・玉田 太朗・坂田 洋一	295
(6) $B\beta$ フラグメント	小林 紀夫	299
B. 症例呈示		
(1) プラスミノゲン異常症	前川 久登・坂田洋一	302

(2) 肝疾患—線溶系マーカーの血中変動との関 係	吉川 雄二	307
4) 血管系検査		
A. 検査法		
(1) トロンボモジュリン	田原千枝子	311
(2) 6-ケト-プロスタグランジン $F_{1\alpha}$	大野 安男	314

III. 血液病理検査

1. 組織学的検査		
1) 骨髄	糸山 進次	364
2) リンパ組織	三方 淳男・田丸 淳一	371
2. 細胞学的検査		
1) 細胞診	福島 範子	377
2) フローサイトメトリー	神林 宏	384
3. 電子顕微鏡検査	鎌田 義正	393
4. 特殊な技術		
1) マイクロウェーブによる急速固定法	布施 恒和・宮沢 光瑞	399
2) パラフィン切片による DNA 解析	保坂 義雄	403

資料

クラスター分類	高瀬 浩造	109
FAB 分類	亀井喜恵子	112
サイトカイン・カスケード	笠倉 新平	319
血小板膜糖蛋白	渡辺 清明	321
異常フィブリノゲンと出血・血栓	松田 道生	324
ビタミン K	白幡 聡	328
International Normalized Ratio (INR)	風間 睦美	330
凝固・線溶因子の日内変動	秋山 淑子	332
免疫染色の自動化	森 茂郎・森下 保幸	407
急速凍結置換による電顕法	小畑 秀一・白倉 治郎	409
わだい		
組織因子	小林 紀夫	336
エンドセリン	眞崎 知生	337
フィブロネクチン	松田 道生	338
ヘパリンコファクター II	櫻川 信男・広川慎一郎	340
高ヒスチジン糖蛋白	小出武比古	342
ビトロネクチン	窪田 歴・林 正男	343
トロンボスポンジン	安藤 泰彦	344
外因系凝固抑制因子	近藤 信一	346
血小板由来増殖因子	益田 順一	347
カルフォバインディン	真木 正博	349
血友病の遺伝子診断	三上 貞昭	350
組織因子と外因系凝固開始機構	宮田 敏行	351
血管内皮機能	島田 和幸	352
低分子ヘパリン	中川 雅夫	354
mixed lineage leukemia	戸川 敦	355
多剤耐性 (MDR) 遺伝子	佐藤 宏	357
静脈うっ滞試験		

……………三宅 良彦・鴨川 旭・安室 洋子……………358	
RFLP による遺伝子診断 ……………野島 博……………359	
nucleolar organizer region(NOR) ……中村 忍……………361	

〔トピックス〕

B 型肝炎ウイルスのサブタイプとその遺伝子構造	
……………四元 茂・岡本 宏明…………… 71(1)	
キサンチン尿症と尿酸値	
……………越智 正昭・村瀬 光春…………… 72(1)	
悪性リンパ腫の遺伝子診断 ……………福原 資郎…………… 73(1)	
IgE 抗体の新しい検査法	
……………山下 直美・森田 寛…………… 74(1)	
granulocyte-colony stimulating factor(G-CSF)	
……………岡部 哲郎……………172(2)	
HTLV-I 関連疾患 ……………山口一成・西村要子……………173(2)	
コラーゲン角膜シールド	
……………馬嶋 慶直・広川 仁則……………173(2)	
LH, FSH, PRL の新国際標準品	
……………青野 敏博……………175(2)	
類鼻疽(melioidosis) ……………三木 礼子……………252(3)	
スペクチノマイシン耐性淋菌 ……………森田 豊寿……………253(3)	
GOR 抗体……………三代 俊治……………254(3)	
中皮腫の組織学的マーカー ……………岡 輝明……………256(3)	
腫瘍性骨軟化症 ……………正木 尚彦・藤原 研司……………385(4)	
バルボウイルスと造血障害 ……………小澤 敬也……………387(4)	
発作性夜間血色素尿症における補体インヒビター	
の欠損 ……………木下タロウ……………388(4)	
ヒトプロテアソーム ……………田村 具博……………389(4)	
実験的潰瘍性大腸炎 ……………岡安 勲……………484(5)	
骨髓巨核球のマーカー ……………丹下 剛……………485(5)	
最近の輸入感染症 ……………澁谷 敏朗……………487(5)	
免疫抑制療法の進歩 ……………原田 実根……………580(6)	
受信者動作特性(ROC)分析 ……………辻 一郎……………582(6)	
小円形細胞肉腫	
……………野島 孝之・福島ゆかり・清水 幹雄……………583(6)	
メパロン酸と家族性高コレステロール血症	
……………大久保 実……………649(8)	
酸化型グルタチオンと睡眠	
……………井上昌次郎・本多 和樹・菰田 泰夫……………651(8)	
悪性リンパ腫と遺伝子	
……………浅野 重之・若狭 治毅……………652(8)	
アンチセンス遺伝子	
……………鎌野 寛・入野 昭三……………654(8)	
“bubble cell”と“bubble cast”……………今井 宣子……………790(9)	
HLA 遺伝子群 ……………徳永 勝士……………790(9)	
突発性発疹と HHV-6 ……………山西 弘一……………792(9)	
<i>Mycobacterium xenopi</i> ……………小林 栄子……………793(9)	
インターロイキン 8 ……………鈴木 和男……………880(10)	
腫瘍と膠原線維—VI 型コラーゲンの形態	
……………中西 功夫……………881(10)	

HLA 欠損症 ……………前田 平生……………883(10)	
ヒドラジン系薬剤によるラジカル生成および	
DNA 損傷 ……………山本 互二・川西 正祐……………884(10)	
遺伝性発作性夜間ヘモグロビン尿症—CD 59 欠損	
による ……………折居 忠夫・山階 学……………978(11)	
カテプシン L ……………唐渡 孝枝・勝沼 信彦……………979(11)	
フルクトサミン測定法の変更 ……………奥田 清……………981(11)	
ガンマナイフ ……………河本 俊介・高倉 公朋……………983(11)	
好乾性カビ	
……………鳥居 新平・石黒 彩子・土居まつ子・	
坂本 龍雄…………… 1078	
パソコンを用いた薬剤感受性検査	
……………福永 壽晴…………… 1079(12)	
viscosity と脳血流量……………白倉 卓夫…………… 1081(12)	
toxic shock syndrome ……………齋藤 英昭…………… 1082(12)	
医療におけるテクノロジー・アセスメント	
……………池田 俊也・池上 直己…………… 1177(13)	
ヒト T 細胞白血病ウイルスの電顕観察	
……………大舘 祐治…………… 1178(13)	
<i>Chlamydia trachomatis</i> の母子感染	
……………中田 博…………… 1180(13)	

〔検査データを考える〕

高カルシウム血症—悪性腫瘍に伴う高カルシウム	
血症の鑑別診断	
……………本田 聡・長崎 光一・山口 建……………67(1)	
劇症肝炎の予後と肝機能異常	
……………関山 和彦・与芝 真……………176(2)	
免疫組織化学における偽陽性 ……………福田 利夫……………234(3)	
補体の異常 ……………大井 洋之・山田 明……………365(4)	
睡眠脳波の異常 ……………野沢 胤美……………465(5)	
尿糖 ……………島 健二……………571(6)	
呼吸機能検査の異常	
……………宮里 逸郎・東條 尚子・須賀 龍治……………638(8)	
一次線溶と二次線溶	
……………新谷 憲治・櫻川 信男……………782(9)	
赤血球増加症 ……………外山 圭助……………871(10)	
好中球アルカリホスファターゼ ……………浦部 晶夫……………967(11)	
血中・尿中カテコールアミン異常	
……………中井 利昭…………… 1069(12)	
血小板減少 ……………垣下 榮三…………… 1166(13)	

〔明日の検査技師に望む〕

検査技師に対するイメージ ……………遠藤 治郎…………… 20(1)	
対立から協調へ ……………丹羽 正治……………130(2)	
そもそもの目的に帰れ ……………屋形 稔……………208(3)	
診療支援サービスに徹せよ ……………松原 藤継……………322(4)	
時代に対応できる勉強を ……………石井 暢……………440(5)	
日々の自己研鑽に励むこと ……………米満 博……………506(6)	
時代の転換に即して自己の変革を	
……………阿部 裕……………610(8)	
技と知と愛と ……………鈴木 泰三……………720(9)	

進取の気持ちと実行とヒューマンリレーションを

大切に	岡部 紘明	822(10)
技術革新と検査室の対応	岡田 正彦	904(11)
授業計画(シラバス)のすすめ	河野 均也	1018(12)
望ましい検査技師像	伊藤 忠一	1102(13)

〔けんさアラカルト〕

体格と心電図	池田 こずえ	14(1)
迅速検出と迅速診断	本田 一陽	142(2)
どんなデータが出たときにすぐ医師に知らせるべきか	森 真由美	202(3)
コンピュータと臨床検査技師	臼井 敏明	316(4)
検査技師と資格試験	松本 佑也	446(5)
臨床検査技師生涯教育の提言	吉田 安雄	518(6)
21世紀の臨床検査を考える(夢のまた夢)	宮原 道明	617(8)
行政で活躍する臨床検査技師—静岡県を例に	伊藤 機一・杉枝 正明	740(9)
品質と品質管理	久米 均	828(10)
医療機器のメンテナンス	小林 昭	910(11)
「すこやか文庫」—入院患者に本の貸し出しを始め	松井美保子	1040(12)
国立大学における病理解剖	田口 孝爾	1118(13)

〔今月の表紙〕

脊髄前根	村上 俊一	56(1)
剖検脳のマクロ・モルフォメトリー	深沢 仁	124(2)
リンパ球	中浜 昌夫	223(3)
骨髄間質の立体再構築像	渡辺陽之輔・山崎一人・榎本 康弘	344(4)
fibroepithelioma(線維上皮腫)—三次元構造	山田 伸夫	453(5)
肺末梢領域の画像解析装置による組織計測	大坪浩一郎	526(6)
肺の三次元画像解析	岡 輝明	648(8)
三次元画像による肝臓の組織構築	高橋 徹	746(9)
肝細胞癌と組織多彩性	神代 正道	852(10)
腹部大動脈瘤の三次元像	布川 雅雄・畠山 卓弥	945(11)
原発性胆汁性肝硬変における肝小葉間の胆管と動脈のコンピュータによる立体再構築像	円山 英昭・熊沢 秀雄・城田 雅敏・高辻 博義	1047(12)
肝腺腫様過形成内での肝内胆管	中沼 安二	1148(13)

〔けんさ質問箱〕

<i>Vibrio cholerae</i> の報告の要領	松原 義雄	89(1)
凝固検査の検査値の解釈について	新徳 隆子・北村 聖	90(1)
一般検査での脳脊髄液中細胞の表記について		

.....稲垣清剛.....	91(1)
クレアチニン酵素法の特異性と正確さについて真々田賢司・大澤 進.....	93(1)
LISS-クームス法の疑陽性について山口 晃.....	180(2)
正中神経・尺骨神経の運動神経伝導速度の測定法原山 尋実.....	181(2)
Salmonella の血清型について小川祐司・山中喜代治.....	183(2)
β -ラクタマーゼの検査は必ず実施しなければならぬのか菅野 治重.....	184(2)
尿比重測定時の補正折田 義正.....	258(3)
骨髄像, 末梢血液像における白血病と悪性リンパ腫の白血化との鑑別のポイント古沢 新平.....	259(3)
各種の免疫組織化学染色キットの長所・短所菅沼 芳明・長谷川章雄.....	261(3)
好中球分離法と好中球遊走能試験北川 誠一.....	391(4)
化膿性菌の培養方法長沢 光章.....	392(4)
抗酸菌分離培地“工藤 PD 培地”での培地融解の原因とその対策森 伴雄.....	393(4)
A群レンサ球菌抗原の抗生剤投与後の残存性目黒 英典.....	395(4)
脳波に対する薬物の影響福島 裕.....	489(5)
血糖だけの高値の症例菅野 剛史.....	490(5)
新鮮凍結血漿・血小板製剤の交差適合試験の要否荒木 延夫.....	491(5)
ホルター心電図の電極取り付け上の注意点千葉 賢治.....	585(6)
便の糖検査をするよい方法は中村 孝司.....	588(6)
右胸心電図の判読法柳谷 泰三.....	588(6)
尿沈渣から検出された原虫鈴木 正伸.....	658(8)
腹部エコーにおける脾下面の free space の鑑別鈴木 憲子.....	657(8)
骨髄置換性貧血の判定のしかた浦部 晶夫.....	659(8)
顆粒リンパ球増多症の判定基準押味 和夫.....	660(8)
マハラノビス汎距離飯塚 悦功.....	794(9)
PSP 試験折田 義正.....	796(9)
ウラ血球の自家調製上の注意点神白 和正.....	796(9)
心電図, 脳波計測における交流誘導障害対策田頭 功.....	797(9)
PSP 検査でゼリー状の物質阪田 光彦・折田 義正.....	887(10)
M4 と M5a の鑑別法長井 一浩・朝長万左男.....	887(10)
便の虫卵検査高尾 善則.....	889(10)
交差適合試験としてのプロメリン法秋田 真哉.....	985(11)
外注検査の時間的経過による検査値への影響星野 茂.....	986(11)
蛋白分画中の β -リポ蛋白安部 彰.....	987(11)

一般サルモネラ菌に有効な薬剤 …増田 剛太	989(11)
超音波検査におけるアーチファクト	
……………鈴木 憲子	1084(12)
梅毒患者における IgM 抗体の意義	
……………大里 和久	1085(12)
同一チップによる分注の弊害	
……………大久保滋夫・大久保昭行	1086(12)
12 誘導心電図, ホルター心電図の保管法	
……………塚田 孝法	1087(12)
ウエルシュ菌の病原性と検査方法	
……………安達 桂子	1183(13)
脳死判定の脳波判読の手順とポイント	
……………石井みゆき	1184(13)
白血球数測定における精度管理 …山田 輝雄	1187(13)

〔ワンポイント・アドバイス〕

迅速検査(3)人のマネジメント ……近清 裕一	95(1)
迅速検査(4)システム化の要因 ……近清 裕一	114(2)
もう一度考えよう“滅菌操作” ……山口 逸弘	241(3)
正式な菌名を書こう ……山口 逸弘	355(4)
微生物検査における検体の取り扱い	
① 喀痰 ……山口 惠三	432(5)
微生物検査における検体の取り扱い	
② 尿 ……山口 惠三	554(6)
微生物検査における検体の取り扱い	
③ 血液 ……山口 惠三	644(8)
微生物検査における検体の取り扱い	
④ 検体の輸送・保存	
……………平冨 洋一・山口 惠三	762(9)
検体検査オーダーシステムの組み立てかた	
① 情報システムの特徴 ……百瀬 育子	878(10)
検体検査オーダーシステムの組み立てかた	
② 情報の分析 ……百瀬 育子	966(11)
検体検査オーダーシステムの組み立てかた	
③ 検体検査の階層(その1. 患者)	
……………百瀬 育子	1058(12)
検査検査オーダーシステムの組み立てかた	
④ 検体検査の階層(その2. 仮想検体種)	
……………百瀬育子	1112(13)

〔珈琲ブレイク〕

タロウ ……N・I	13(1)
植物と人間の身近な関係 ……H・O	108(2)
「第七の封印」とは…? ……K・S	222(3)
和顔愛語 ……A・M	328(4)
「趣味」 ……K・K	358(4)
土手の四季 ……Y・I	422(5)
パソコン対ワープロ ……M・H	481(5)
学会の楽しみかた ……N・I	525(6)
検査技師をされていてよかったと思うとき	
……………N・I	637(8)
キライもスキのうち ……H・T	739(9)

寺苑 ……齋藤慎太郎	834(10)
七つ森 ……齋藤慎太郎	938(11)
Mさんと私 ……N・I	1004(12)
一杯のコーヒーから ……齋藤慎太郎	1034(12)
東北線に沿う山々 ……齋藤慎太郎	1107(13)

〔臨床検査技師国家試験〕…本誌編集委員会

第37回臨床検査技師国家試験問題 解答速報	456(5)
第37回臨床検査技師国家試験問題 解答と解説	663(8)

〔その他〕

お知らせ

第3回シアル酸臨床シンポジウム	36(1)
1991年前半の臨床検査関連学会	186(2)
二級臨床病理技術士資格認定試験実施要領(平成3年度)	264(3)
一般臨床検査士資格認定試験実施要領(平成3年度)	264(3)
神経芽細胞腫検査技術者研修会	384(4)
第28回補体シンポジウム	471(5)
青年海外協力隊募集	488(5)
第28回日本脳波・筋電図技術講習会	517(6)
医学・生物学電子顕微鏡技術研究会第7回学術講演会	574(6)
第13回電解質・血液ガス測定の国際会議	609(8)
平成3年度日本臨床検査標準協議会学術集会	745(9)
平成3年度日本臨床化学会関東支部学術例会	844(10)
平成3年度細胞検査士資格認定試験実施要領	879(10)
平成3年度一級臨床病理技術士第36回資格認定試験実施要領	891(10)
第2回薬剤感受性情報研究会	990(11)
第6回サンプリング研究会一般演題募集	1072(12)
第3回日本微生物学会総会	1140(13)
第2回生物試料分析科学会学術集会	1161(13)
第5回小児臨床検査医学国際会議	1173(13)
学会印象記・第40回日本臨床衛生検査学会	
大忙しの学会 ……渡辺 ユウ	620(8)
21世紀を目指して、記念すべき日臨技総会開く	
……………安藤 千秋	662(8)

書 評

解剖学カラーアトラス第2版 ……木村 邦彦	42(1)
電解質と微量元素の臨床検査ガイド(『臨床検査』第34巻増刊号) ……岡田 正	143(2)
臨床 ME 機器なんでも 110 番 ……遠田 栄一	144(2)
解剖学カラーアトラス第2版 ……田中 重徳	152(2)
神経生理を学ぶ人のために ……中西 孝雄	226(3)
ローガン医学略語辞典 ……後藤 文男	350(4)
神経生理を学ぶ人のために ……加藤 元博	397(4)
臨床解剖学へのアプローチ ……山鳥 崇	551(6)
神経生理学を学ぶ人のために ……木村 淳	661(8)
実践 細胞診カラー図鑑 [応用編]	
……………田中 昇	759(9)

うまい英語で医学論文を書くコツ	日野原重明	849(10)
正常値・診断マニュアル	大久保昭行	886(10)
『検査と技術』1991 年増刊号 臨床血液検査	松田 保	948(11)
臨床解剖学へのアプローチ	山田 和順	991(11)
ローン生化学	宮井 潔	1050(12)

カラーアトラス人体	斎藤 宏学	1089(12)
うまい英語で医学論文を書くコツ	多田 富雄	1182(13)
その他		
平成2年度二級臨床病理技術士資格認定試験 全問題と解答		265(3)
臨床検査技師学校一覧		976(11)